

ひとりで手軽にエア抜きができる！ 真空引き方式のエアブリーダー

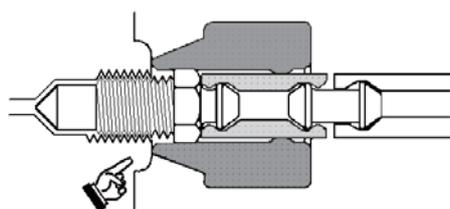
オートバイ～小型トラック程度の、
ブレーキおよびクラッチエア抜きに
活躍します！



○タンク容量：1リットル
○使用温度範囲：0～60℃

使用方法 ※ご使用前に下記の使用上の注意事項を必ず先にご確認ください。

- ①バルブを閉じた状態で、エア配管（圧力：0.5～0.7Mpa）を接続します。
- ②リザーバータンク内のフルードが空にならないよう、自動補給器（推奨型式：OM-212, OM-213）等で新品フルードを供給できるように準備してください。
- ③ブレーキプラグにホース口を差し込み、1/2回転程度ゆるめます。（マスターシリンダーが空の場合は、予めブレーキペダルを数回踏み込んで、フルードを送り込みます。エア抜きの順序および車両個々の注意事項は、整備要領書に従ってください。）
- ④バルブを開き、真空引きを行います。数秒間ずつ、ブリーダープラグをゆるめたり締めたりして、ホース内のエアが消えるまで繰り返します。最後にブリーダー補助リングを強く押し当ててエア抜きの完了を確認します。確認の際は、バルブを閉じ気味に調整して行います。強い負圧で吸引すると、キャビテーションによる気泡が発生する事があります。
- ⑤各ホイールシリンダーのエア抜きの完了後に、必ずブレーキペダルを数回踏み込み踏みしろが出てくることを確認してください。



ブリーダー補助リング

… ブリーダー補助リング …

今までのバキューム式機器では、ブリーダープラグのネジ部すき間からエアを吸い込み、いつまでたっても気泡が消えないという問題があり、ブリーダー補助リングを開発、左記の図のようにブリーダープラグに被せ、エアの吸い込みを減少して、エア抜きの完了のタイミングが分かるようになり、安全性が向上、さらにフルードの無駄を防止します。

<<< 使用上の注意事項 >>>

- ※供給エア圧力は、0.7Mpa(7kgf/cm²) 以下で使用してください。加圧逆流や、本機器の破損・破裂の原因となります。
- ※廃油は、タンクの八分目を越える前に処分してください。またタンクを傾けたり、ゆらして使用しないでください。サイレンサー部より廃油が吹き出します。
- ※ブレーキフルードは、塗装面を傷めます。不測の事態に備えて、周囲を保護してください。
- ※ブリーダープラグの周りの形状によっては、ブリーダー補助リングでエアの吸い込みを防止できず、ホース内のフルードから、気泡がいつまでも消えない事があります。その時は、ブレーキ用ラバーグリスなどで隙間をシールしてください。
- ※ゴム部品・ホースは消耗品です。
- ※その他、作業車両の整備要領書およびブレーキフルードの注意指示を遵守して、正しく作業してください。